愛媛県小田町編『小田深山の自然Ⅱ』, pp. 325-351.

野村周平・横関秀行, 2007. 三重県のアリヅカムシ相. ねじればね, (121): 1-11.

岡本 巌・野村周平, 1987. 広島県産アリヅカムシ科目録(第1報). 広島虫の会会報, 広島虫の会, 広島市, 26:5-8.

岡本 巌·野村周平, 1988. 広島県産アリヅカムシ科目録(第2報). 広島虫の会会報, 27: 45-47.

降籏剛寛・野村周平, 2008. 長野県内で採集されたアリヅカムシ. New Entomologist, 信州昆虫学会, 松本市, 57(1, 2): 21–28. 佐々木茂美, 1990. 大分県のアリヅカムシ(1). 二豊のむし, (23):

Sawada, K., 1961. Neue Pselaphinen von Japan (3. Beitrag). Entomological Review of Japan, 12: 41–44. Sharp, D., 1874. The Pselaphidae and Scydmaenidae of Japan. Transaction of the entomological Society of London, 1874: 105-130

Sharp, D., 1883. Revision of the Pselaphidae of Japan. Transaction of the entomological Society of London, 1883: 291–331.

高羽正治・井村正行・西原省吾・中田勝之・高田兼太, 1998. Coleoptera コウチュウ目. 石川の自然環境シリーズ石川 の昆虫, pp. 102-251.

Waterhouse, C. O., 1882–90. Aids to identification of insects. E. W. Janson ed., London, 189 pls.

山崎秀雄, 1999. 千葉県の鞘翅目. 千葉県動物学会編 千葉県動物誌, 文一総合出版, pp. 634-718.

(2014年9月22日受領, 2014年12月9日受理)

## 【短報】愛媛県におけるオオマルケシゲンゴロウの 初記録

オオマルケシゲンゴロウ Hydrovatus bonvouloiri Sharp, 1882 (図 1) は、マルケシゲンゴロウ属に属する水生甲虫で、本州西部、四国(香川県、高知県)、九州、南西諸島(奄美大島を除く)に分布している(高知県、2002;森・北山、2002). 四国からは、これまで香川県の小豆島および高知県から記録されていたが(高知県、2002;出嶋、2007)、筆者は愛媛県初記録となる本種を採集したのでここに報告する.

15exs., 愛媛県伊予市森, 20. VII. 2014, 筆者採集・保管.

本種が確認されたのは、抽水植物が繁茂した小さな沼地であった(図 2). この沼地では、植物の遷移が進行しており、水際に堆積した植物残渣の中から多数の本種が得られた. 四国の瀬戸内海側では、本種はこれまで小豆島以外からは発見されていなかったが、今回の記録により本土部にも分布していることが確認された.

本種は、環境省の第4次レッドリストで準絶滅危惧に選定されており(環境省自然環境局野生生物課、2012)、四国で記録のある香川県と高知県においても、ともに準絶滅危惧に選定されている(高知県、2002;香川県、2004)、筆者は、「愛媛県版レッドデータブック」の改訂のため、数年にわたり愛媛県内の広範囲で水生昆虫の調査を行ってきたが、これまで本種が確認されていなかったことから、愛媛県内の分布も局地的である可能性が高い。

## 引用文献

出嶋利明, 2007. 香川県の水生食肉甲虫類. 香川生物, (34): 83-96.

香川県, 2004. 香川県レッドデータブック 香川県の希少野生 生物. 417pp. 香川自然環境保全調査会.

環境省自然環境局野生生物課,2012. 報道発表資料第4次レッドリストの公表について(お知らせ). (2014年7月30

## 日参照)

高知県、2002. 高知県レッドデータブック〔動物編〕 - 高知県の絶滅のおそれのある野生動物 - . 470pp. 高知県文化環境部環境保全課.

森 正人・北山 昭, 2002. 改訂版 図説 日本のゲンゴロウ. 231pp. 文一総合出版.

(渡部晃平 700-8617 岡山市北区津島京町3丁目1番21号 株式会社エイト日本技術開発)



図1. 愛媛県産オオマルケシゲンゴロウ.



図2. 本種の生息環境.